

地域研究論集一覧

発行年月	No.	タイトル	執筆者
1997年8月	Vol.1 No.1	創刊にあたって	松原 正毅
		地域研究序説	松原 正毅
		地域研究の構図 名称にこだわって	立本 成文
		<世界単位>の考え方	高谷 好一
		「知」としての社会科学、「愛」としての地域研究	五十嵐 武士
		パレスチナ/イスラエル地域研究への序章 イスラエル政治社会における<他者>の表象の諸問題	白杵 陽
		地域間比較研究から地域間交流をめざして 西アフリカのサバンナ帯への東北タイ農耕の応用	若月 利之
		砂漠に消えた「革命」 近代エジプトの遊牧民「革命」	加藤 博
		ペルーにおける選挙制度の史的展開 一つの接近	村上 勇介
		地域研究企画交流センター活動報告	押川 文子
1998年6月	Vol.1 No.2	地域生態史の視点	阿部 健一
		生態史研究へのアプローチ 中央アフリカ熱帯雨林の例から	市川 光雄
		生態論理と地域研究	古川 久雄
		地域研究としての地域生態史 ニュージーランドの場合	吉田 集而
		ウズベキスタンにおけるバスマチ運動の見直しとその課題	帯谷 知可
		新生「タクフィール・ワ・ヒジュラ」の思想と行動	中田 考
		国境を越えるアメリカの政党活動	大津留(北川)智恵子
		極小島嶼の経済的自立	高橋 康昌
		地域研究・開発研究と近代国家論の「異床同夢」 南太平洋島嶼国家の群像をめぐる	佐藤 幸男
		「地域研究」というアリーナ 戦後沖縄研究をめぐる	富山 一郎
1999年3月	Vol.2 No.1	地域研究と植民地人類学	中生 勝美
		北海道における植民地統治と地域史の欠落 アイヌ民族の視点と地域研究	上村 英明
		紛争とムスリム女性 MNLFと政府軍の武力対立に関する一考察	石井 正子
		カザフ民族史再考 歴史記述の問題によせて	宇山 智彦
		1980年代のアンデス・ユートピア論に関する一考察 ペルー現代思想史の視点から見た評価	小倉 英敬
		ペルーにおける下層民と政治 1980年代以降の研究の特徴と今後の展開に向けての課題	村上 勇介
		開発援助政策における普遍的アプローチと地域性	大芝 亮
		グローバリゼーションとポスト・コロニアル世界の位置 国際政治理論の脱構築	北村 治
		国境をまたぐ開発協力と地域の安定 冷戦後インドシナにおける開発の現状と課題	大平 剛
		NGOのグローバル・ネットワークと世界銀行	戸田 陽一郎
1999年9月	Vol.2 No.2	ポピュラー・ヒンドゥーイズムにおける憑依カルトの位置づけ 西ネパールのマスト・カルトへの分析視角を求めて	安野 早己
		文化変容と民族的アイデンティティの変遷 中国・青海省河南モンゴル族自治県の事例より	シンジルト
		南沙諸島海域におけるサマの漁業活動 干魚と干ナマコの加工・流通をめぐる	赤嶺 淳
		「部分出産中絶禁止法案」(1995、1997)とアメリカのプロチョイス運動	緒方 房子
		「英国議会資料」の概観	P. マサイアス
		「英国議会資料」と日本	L. M. カレン
		「英国議会資料」に関する考察	A. J. H. レイサム
		「英国議会資料」とタイ経済史研究 1850年代から第一次世界大戦まで	宮田 敏之
		近代日本史研究と「英国議会資料」 明治維新史研究を中心に	鷗飼 政志
		弁当からミックス・ランチへ 博物館とハワイ日系移民史の表象	矢口 祐人
2000年3月	Vol.3 No.1	アメリカ合衆国におけるヘイトクライム法とその問題点	新 恵里
		地球環境と水系	和田 英太郎
		海洋交通と都市化に関連したデング/デング出血熱の伝播動態	川端 真人

地域研究論集一覧

発行年月	No.	タイトル	執筆者
2000年12月	Vol.3 No.2	ポストコロナル状況における宗教とジェンダーの語り	川橋 範子
		差異の交差するところ 北タイ山地における民族間結婚	速水 洋子
		アタバの娘事件を読む 現代エジプト社会における性の象徴性	長沢 栄治
		インド英字女性雑誌を読む 90年代都市ミドル・クラスの女性言説	押川 文子
		テュルク英雄叙事詩の地域的特徴 『チョラ=バトゥル』の分類をもとに	坂井 弘紀
		緊張する「周縁」 「北アイルランド問題」におけるナショナル・アイデンティティ	尹 慧瑛
2002年3月	Vol.4 No.1	ペルーにおける「国民」理念の形成 1920年代のホセ・カルロス・マリアテギの場合	小倉 英
		南アジア:地域ネットワークのゆくえ	水島 司
		外交と地域 東アジア外交史からの「地域」像	川島 真
		ベトナムと東南アジア	古田 元夫
		歴史認識の枠組としてのアフリカ地域 世界史との接点を探る	富永 智津子
		「辺境」の抵抗 ソロモン諸島ガダルカナル島における「民族紛争」が意味するもの	関根 久雄
		カスタムにおける所有的側面 ヴァヌアツ・トンゴア島民の事例を中心に	白川 千尋
		1990年代ペルーの政治過程分析に向けた予備的考察 第1期目のフジモリ政治を見る二つの視角	村上 勇介
		グローバリゼーションと小零細企業 ペルーの事例に関する予備的考察	佐野 誠
		人類連合の模索にむけて 大規模テロとアフガン戦争	松原 正毅
		特集「9・11」以降、世界は変わったのか — 地域研究の視点から 編集にあたって	白杵 陽
		座談会 「新たな秩序」を地域の側からとらえなおす	李 鍾元・油井 大三郎・酒井 啓子・高原 明生・内藤 正典・白杵 陽(司会)
論考①インドネシア ツインタワー、アメリカ、そしてイスラーム — インドネシアからの問いかけ	セノ・グミラ・アジダルマ		
②タジキスタン 9・11事件から一年 — タジキスタンの対応	サオダト・オリモヴァ、ムザッファル・オリモフ		
③イラン 迷走のイラン内政と対米関係 — 9.11事件と「テロ」問題の波及	吉村 慎太郎		
④北東アフリカ 9・11事件とアフリカ — ソマリアとスーダン	栗本 英世		
2003年2月	Vol.5 No.1	⑤イギリス 「特別な関係」? — 9・11以降の英米関係とその歴史的背景	木畑 洋一
		⑥フランス 自閉に向かうヨーロッパ? — 新しいナショナリズムの台頭	畑山 敏夫
		⑦ドイツ 9・11とドイツ	高橋 進
		⑧ロシア テロと向き合うロシア — 問われるそのアイデンティティ	中村 裕
		⑨アメリカ 「9・11」一周年のアメリカの不安	森 孝一
		投稿論文 形成期のオリア・アイデンティティ — 1867年から1870年のオリア語論争について	杉本 浄
		宝石のくいの出現 — バイリン興隆史	北川 香子
		特集 グローバル化とアジア社会の変容 — 東南アジア地域研究の視点から 編集にあたって	吉原 直樹
		座談会 グローバル化とアジア像の再審	白杵 陽・熊谷 圭知・倉沢 愛子・後藤 乾一・濱下 武志・吉原 直樹(司会)
		論考 プライメイト・シティからアジア・メカシティへ — アジア像の再審のために	吉原 直樹
2003年3月	Vol.5 No.2	インドネシアにおけるイスラーム主義とモダニティの交錯	見市 健
		熱帯のメトロポリス クアラルンプル断章 — スクオッター都市から世界都市へ?	藤原 正己
		変容する路地裏空間とインフォーマルセクターの地層 — ジャカルタのキャンにおけるプガダン・クリリンについて	ラファエラ・D・ドウィアント
		パプアニューギニア:空間の仕切り直しとローカリティの揺らぎ — 辺境の「旅」とフィールドワーカーの位置性をめぐって	熊谷 圭知
		小特集 イスラエルのパレスチナ人 — アラブ・マイノリティへの暴力の構造 編集にあたって	白杵 陽
		ユダヤ人国家とマイノリティ — 独立宣言と基本法の視角から	白杵 陽
		シャロン政権下におけるパレスチナ人マイノリティ	アフマド・H・サアディー
		出口のない環の中で — アル・アクサ・インティファーダの余波とイスラエル・アラブ社会	菅瀬 晶子
		小特集 緊迫する朝鮮半島情勢の基層を探る — 北朝鮮の経済衰退と韓国の政治変化 編集にあたって	白杵 陽
		北朝鮮における経済政策の変遷と今後の展望 — 1980年代以降を中心に	趙 明哲
		インターネットと韓国大統領選挙 — 言論権力VSインターネット権力を中心に	玄 武岩
		投稿論文 国籍の再検討 — ソ連邦崩壊後のエストニアを事例として	小森 宏美

地域研究論集一覧

発行年月	No.	タイトル	執筆者
		『地域研究』リニューアルにあたって 地域から世界を考える市民の知をめざして	押川 文子
		特集1 試される民主主義 — イラク戦争後の中東 編集にあたって	白杵 陽
		戦後イラクにおける社会のイスラーム化とイスラームの政治化	酒井 啓子
		バアス主義における「自由」と「民主主義」	青山 弘之
		軍国民主主義 — 戦時下の中東地域における民主化	アフマド・アブドゥッラー
		深まる占領の傷 — イラク・バグダードからのレポート	土井 敏邦
		外からの「民主化」の挫折 — パレスチナ自治政府におけるアッバース内閣の崩壊の意味	白杵 陽
		ネオ・コン・シオニズム — ブッシュ政権を動かす思想	クロダ・ヤスマサ
		試される「デモクラシー」 — イラン・イスラーム共和国とブッシュ政権	松永 泰行
2004年4月	Vol.6 No.1	スーダンにおける民主主義の伝統と将来の展望	栗田 禎子
		リーディング・ガイド	白杵 陽・長沢 栄治・黒木 英充
		オリエンタリズムと地域研究 — エドワード・W・サイードの逝去に寄せて	白杵 陽
		特集2 アフリカ女子割礼 編集にあたって	富永 智津子
		「女子割礼」をめぐる研究動向 — 英語文献と日本語文献を中心に	富永 智津子
		FGMの起源と文化 — 女性の健康とジェンダー・セクシュアリティの視点から	若杉 なおみ
		国家と伝統のはざままで — エチオピア西南部クシ係農牧民ホールにおける女子「割礼」	宮脇 幸生
		〈「女子割礼」/FGM〉問題の歴史的考察のために — 南部アフリカの女子イニシエーションをめぐる最近の研究から	永原 陽子
		個別論文「帰郷」の中のディアスポラ — ウクライナにおけるユダヤ人巡礼と競われる二つの聖地	赤尾 光春
		穀倉地域とプランテーションの港 — 仏領期カンボジアにおける地方都市コムボン・チャームの発展	北川 香子
		特集1 パスポートをめぐる力学——国籍・市民権・移動 編集にあたって	押川文子
		座談会 パスポートをめぐる力学	飯笹 佐代子・白杵 陽・梶田 孝道・加藤 音章・趙 慶喜・陳 天璽・押川 文子(司会)
		市民権の重層化と帰化行政	近藤 敦
		包摂と排除の政治力学——オランダにおける市民権/国籍の過去・現在・未来	吉田 信
		南アジアにおける難民と国籍	佐藤 宏
2004年11月	Vol.6 No.2	便宜的な国籍——フジモリの日本国籍問題に寄せて	村上 勇介
		特集2 周辺から見る「EU」——二〇〇四年EU拡大をめぐる 編集にあたって——ヨーロッパ連合(EU)の東方拡大	小森 宏美
		チェコの政党政治と欧州懐疑主義	林 忠行
		EU加盟という「選択」——エストニアとラトヴィアを事例として	小森 宏美
		待たされるトルコ	八谷 まち子